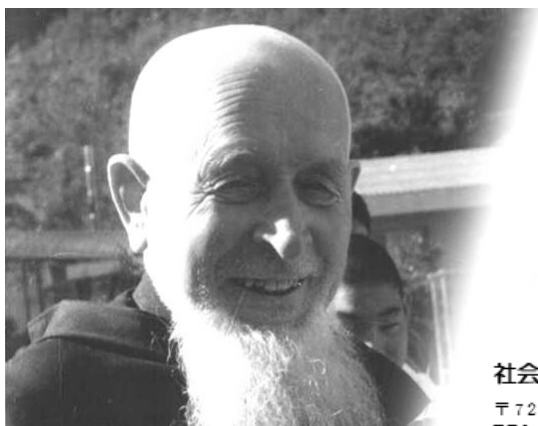




WIND FROM ZENO

ふれあい

社会福祉法人「ゼノ」少年牧場

2025.10.25 No.177

〒720-0311 広島県福山市沼隈町草深 1212
TEL(084)987-0357 FAX(084)987-3185

発行人 寶子丸 周吾 編集 ふれあい編集委員会
題字 大楽 華雪

食品成型機を導入しました！

JOBプラスはんど

就労支援ワーカー 三島 博司

JOBプラスはんどには、開設以来の活動として食品製造部門があります。毎日、野菜の下処理から計量、成形、パン粉付けまで手作業でコロッケやメンチカツを作っています。学校給食や市内スーパーへの冷凍商品卸し、法人内施設を始め、地域の高齢者施設や道の駅での揚げたて商品卸しなどを行なっています。皆様のお陰もあつて、年々売上は上がっています。本当にありがとうございます。

しかし、手作業での限界や利用者さんの負担のこともあり、今以上に生産量を上げるためには機械の導入が必要と考えるようになりました。そこで、2年前に食品成型機を導入されている他の事業所の見学にみんなで行かせていただきました。実際に見ると製造の速さに利用者さんも「すごい」と驚かれました。帰ってからは「いつ機械入る？」とすっかりその気モードの皆さんでした。その後、いくつかの助成団体を

調べ、昨年度ヤマト福祉財団様の「2025年度障がい者給料増額支援助成金事業」に申請をさせていただき、無事、助成決定をいただくことができました。また、今年の7月7日(月)には、やまびこ学園2階の大ホールにて助成金贈呈式を執り行いました。利用者さんにも滅多にない機会でしたが、助成金証書を受け取る練習やお礼の言葉を考えて読み上げる練習など、貴重な体験にも繋がりました。

そして、10月7日(火)に食品成型機が導入されました。攪拌した材料を

投入すると成形されたコロッケやメンチカツが出てくる機械で、最大で1時間に4000個製造できま



す。今の手作業では1日最大で500個が限度なので各段に製造量が上がります。とはいえ、冷凍やパン粉付けの工程、保管用冷凍庫のスペースの問題もあるので、流れを見ながら確実に増やしていこうと思っています。

ヤマト福祉財団の皆様、この度は本当にありがとうございました。大切に有効に機械を使いながらしっかりと利用者さんの工賃を上げていけるよう努力してまいります。

・総事業費

2,997,500円

・助成金

2,500,000円



夏のイベント



夏休みお出かけ 2025

放課後児童デイサービスセンターらいず

児童発達支援ワーカー 横山 由佳

今年の夏休みのお出かけで、井原児童館・真備児童館へ行ってきました。らいずでは、支援の中で地域資源の活用を取り入れており、そのルールやマナーを学びながら、地域の方とコミュニケーションをとる場としての活動を提供しています。

今回、利用した児童館では大きな声で「こんにちは。」と挨拶をし、そこでのルールを職員さんから聞きました。みんな静かに話を聞くことができ、遊ぶ時にはしっかりとルールが守れていました。また、真備児童館では、おもちゃの貸し出しの際、絵カードを使用し職員さんに「貸してください。」のやり取りができるようになっていました。言葉でのやり取りが難しい子どもも、絵カードを使用することで上手にできていました。

初めて遊ぶビリヤードは、とても貴重な体験になりました。また、おもちゃを使って友達と仲良く遊んだり、けん玉や豆掴みゲームをしたりと体や指先をしっかり動かして遊ぶこともできました。

今後も、子どもたちにたくさんの

経験や場を提供したいと思います。



9月6日オープン

福山市ネウボラセンター内覧会にあそびに行きました！

松永東保育所 児童発達支援ワーカー

井澤 美貴

福山市ネウボラセンター開設に先立つて、9月2日から5日までの間、福山市保育施設に限定して内覧会に招待されました。申し込んだところ、見事、初日に当選し松永東保育所がはじめてのお客としてたくさんのスタッフの方に見守られながら内覧会に参加をさせていただきました。

今回は4歳児25人が、新しく開設したキッズスペースであそびを楽しみました。行く前からとても楽しみにしており、「あと〇回寝たらネウボラセンター行くね！」とカウントダウンしていた子どもたち。バスに乗っての



おでかけで子どもたちのテンションは更に上がり、当日はウキウキと心を弾ませながら出発しました。中に入るとトランポリンや大きな積み木ブロック、ボールプールなど、魅力的な遊具がたくさん。子どもたちもどこからあそぼうかと目を輝かせていました。たくさんあそんで大満足な所外保育となりました！



あかつき夏祭り

あかつき 就労支援ワーカー

戸梶 美紀

8月7日、厳しい日差しが照り付ける夏真っ盛りの日に、ウエス部門で夏祭りを行いました。

毎年、利用者さんが楽しみにされている活動のひとつで、実行委員を募って利用者さんのやりたいことが形になるよう取り組んでいます。今年は「ゲゲゲの鬼太郎がやりたい！」とのアイデアを頂き、ゲゲゲの鬼太郎お化け屋敷を開催しました。

かわいい猫娘が看板となり、他部門の利用者さんにも来て頂きあかつき全体で楽しんでもらうことができました。「初めてお化け屋敷に入る」と言われる利用者さんも居て、ドキドキしながら中に入られていましたが「怖かったけど



楽しかった」と戻って来られ、色々な経験をして頂く良い機会になりました。他にもやきそばやたこやきなど夏祭りらしい食べ物を振舞ったり、「たいやきくん！」との意見もあつたのでたいやき釣りをしたりしました。来年の夏祭りも利用者さんのアイデアで新しい体験を皆さんにして頂けたら嬉しいです。



幼保連携型
認定こども園

ゆめな

入園を考えておられる方、入園相談、施設見学を随時受け付けております。気軽にご連絡ください。

〒720-0311

福山市沼隈町大字草深字将木角 2119-6

TEL 084-987-2200 FAX 084-987-5600

<https://www.zeno.or.jp/yumena/>



吸い取り抜群！
上質ウエスを販売しています

お問い合わせはこちらまで

084-960-2256

製造・販売 / ゆめサポート・バク

広島県福山市神辺町東中条 7301-6



の食材いっぱい!!

バクの手作り弁当

バクの手作り弁当は毎日食べても飽きない家庭の味。

旬の食材を使用し、栄養バランスを一番に考えた手作り弁当です。

お弁当注文と
お問い合わせは
こちらまで

お弁当1個からOKです。宅配料無料 (配達エリア内に限る)

084-960-2256

製造・販売 / ゆめサポート・バク
広島県福山市神辺町東中条 7301-6



100%
国産米

日替わり手作り弁当

530円(税込)

研修報告



より良い職場環境を目指して

法人事務局長 池田 真吾

令和2年

6月より、職場におけるハラスメント防止への取り組みが法的に義務付けられました。

当法人ではこの流れを受け、人財企画室内にハラスメント相談窓口を設置し、相談があった場合には誠実かつ迅速に対応する体制を整備しています。実際に年間2〜3件の相談が寄せられており、個々のケースに応じた必要な措置を講じてきました。また、すべての事業所において、掲示物を活用したハラスメント撲滅の啓発を実施し、従業員一人ひとりへの意識浸透にも努めています。

本年6月には、法人内の全従業員を対象にハラスメント実態調査を実施しました。この調査では、約7割の職員にご回答いただくことができ、



職場環境に対する関心の高さが伺えました。そのなかで「何らかのハラスメントを受けた、あるいは見かけた」と回答された方も少なからずおられ、決して無視できない実態が明らかとなり、私たちが今後も不断に取り組みすべき課題を示していると言えます。

そこで、7月28日(月)の午後には、施設長や主任、サービスマン管理責任者、児童発達支援管理責任者など、管理職や現場を統括する責任者が一堂に会し、ハラスメント研修を開催しました。研修会の冒頭、理事長からは「管理職や現場を取りまとめる者こそ、自らの言動を今一度しっかりと見つめ直す必要がある」という力強い訓示がなされ、参加者は真摯にその言葉に耳を傾けていました。

今回の研修では、実態調査の結果を全員に共有するとともに、架空の事例を題材としたグループワークも行いました。グループディスカッションでは、各自の意見を出し合いながらも、他の参加者の多様な意見を受け止め、建設的かつ前向きな議論が進められました。また、他事業所の先進的な取り組みに触れることで、新しい視点を得る貴重な機会となりました。研修後には「他の参加者の考えに触れて気付きがあった」「自分自身の行動を見直す良い機会だった」など、多数のプラスの声も寄せられています。

今後このような研修の機会を積み重ねるとともに、定期的な実態調査を継続して実施する予定です。法人内におけるハラスメントの改善とすべての職員が働きやすい職場環境づくりを目指し、私たちは一層の努力を続けてまいります。

新任者研修

事業所見学に行きました

人財企画室 清水 理絵

当法人に正規職員として入職された皆様には、法人内研修に参加していただいております。新任者から3年目職員まで研修プログラムを組み、人材育成と定着支援を行っています。新任者研修は、法人の理解促進と基礎的な知識の習得を目的として、約半年をかけてビジネスマナーや人事考課制度、専門科目講義などのプログラムを設定しています。事業所見学もその一つです。実際に事業所に出向き、その特徴や取り組みを見聞き、理解を深める機会としています。

当法人の魅力の一つは、規模の大きさです。児童期から成人期といった幅広い年代や、保育分野、障害分野、公益事業といった多岐にわたる事業を通して、様々なことを学ぶことができます。例年、

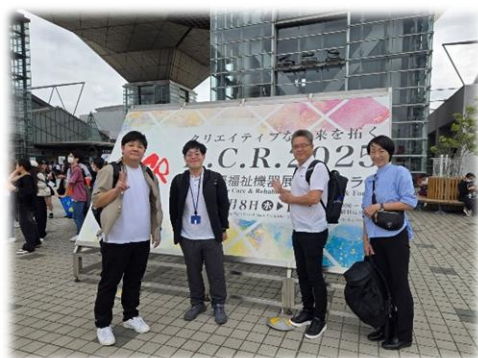


見学する事業所は企画担当者が設定していましたが、今年度は「主体的な姿勢で学ぶ」ことを重視し、新任者の皆様に見学先を選定していただきました。さらに、それぞれに役割を持って参加していただきました。

当日は、緊張しながらも懸命に言葉を発する人、堂々とした姿勢で質問する人と様々でした。どの新任者も各事業所の説明を真剣に聞き、理解に努めていました。真面目に意欲的に取り組む姿勢を見ると、これらの成長が大変楽しみです。新任者と呼べる期間は残り約半年となりました。多くのことを学び吸収し、2年目を迎えて欲しいと思います。

国際福祉機器展の視察報告

経営企画室 渡辺 博愛



10月8日(水)～10日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された「第52回国際福祉機器展」に5名で視察に行きました。出展企業数は約400社。1日当たりの来場者数は約4万人と、とても規模の大きいイベントでした。

今回は特に、①入所施設やグループホームで活用できる見守り支援システム、②AI技術を使ったケアプランの自動作成ツール、③療育や保育で活用できそうなツール、④リハビリや運動に効果的なツール、⑤介護や介助での身体負担軽減に資するアイテム、⑥事務作業を効率化できそうなシステムの6点を中心に情報収集

することを目的としました。

私たちは、9～10日の2日間参加しましたが、初日、会場ロビーに着いてみると「あれは自動運転?」「介助者が後部に立ったまま一緒に乗っている!」といったモビリティ車椅子が会場内を走行していました。「最新の福祉機器展に来たなあ」と思いながら、5名それぞれ分かれて各ブースに行きました。

①の見守り支援システムでは、機能的に充実していたものでは、各部屋に専用カメラとセンサーを設置して利用者の方の入眠状態、心拍や体温・呼吸の状況が大きなモニターで一括管理できるタイプがありました。また、テレビ電話的な機能付きのものもあり、職員が常駐していないグループホームでは「利用者さんから簡単に連絡が入れられたりして良いな」と思うものもありました。記録についても法人が導入したケアカルテに自動転記されるメーカーもあれば専用アプリを使うものもありで、まさに一長一短でしたが、どのブースも人は多く、高齢者分野も含めて見守り体制をいかにしていくかは共通の課題と再認識しました。

②については、残念ながら障害福祉事業用の出展はありませんでした

が、介護福祉関係者で説明を聞いている方は多く、こちらもニーズの高まりを感じる分野でした。

③と④では、大阪・関西万博にも展示されていたというデジタル運動ツール、カメラセンサーを使って300種類のゲームで運動やリハビリを行うものもありました。体験しましたが、楽しく運動やリハビリできるのは十分に感じました。

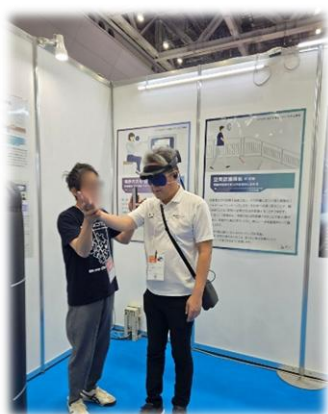
残りの⑤⑥では、日用品的なもので言えば、腰に巻くだけで重さの軽減ができるベルトやベッドからの移乗で使う最新のスライディングボード、大きいもので言えばリフト系まで様々ありました。また、AIを使った勤務表自動作成ツールもあり、実際に動作画面を見ましたが、例えばJOBプラスはんどであれば10秒も掛からずに出来るなどという感じでした。

個人的には、九州のある国立大学が立ち上げたベンチャー企業のNotebookLM、AIを活用した社内ポータル の作成が興味深かったところです。教授とDX担当の方とお話をさせていただきましたが、社内ポータルの整理は、業務効率化の面からも今後は更に重要になると感じます。また、直近では「行動データから異常を検知して対処法を導くアプリ」に関する

るセミナーをご紹介いただきましたが、まさに①の見守り支援システムにも通じるところがあり、こうした情報収集の機会も逃さないようにしていきたいと思っています。

福祉の世界でも「生産性の向上」ということが言われ始めています。私は、お子さんたちや障がいのある方たちと職員が人として関わる時間を増やしたり、充実していくことがその1つの表れと思っています。

いろいろな機器や技術を取り入れながら進んでいくことは、療育・保育・支援の場面で今後更に求められていくことと思います。費用対効果の面も含めながら、法人の中で検討・計画を進めていきたいと思っています。



おいしいパン作りを目指して

ベトナムから講師を招いてのパン作り

あかつき

施設長

川元 信之

サービス管理責任者

栗田

温子

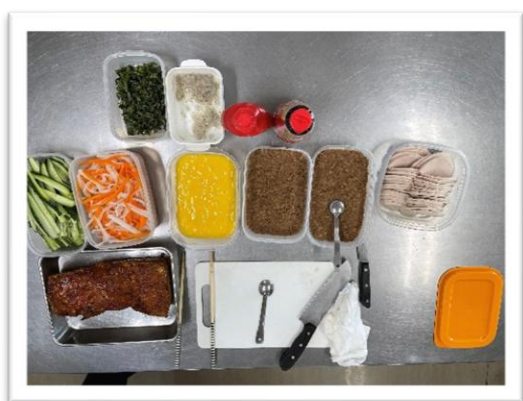
今から約1年前。ベトナムへの視察研修に参加させていただきました。その際、ダナン保護協会で職業支援をされている事業所へ伺う機会をいただきました。

職業支援の内容は、パン作りです。ベトナムの有名な食べ物の一つに「バインミー」があります。あかつきにはPakupakuというパンを製造販売しているグループがあり、興味を持って見学をさせていただきました。その時理事長から、「パン作りを教えてもらえたらいいね」という一言が、現実となりました。9月22日、ダナンでお会いた。ギアさんがパン作りを伝えるため、日本へ来てくださいました。パン作りを教えていただいた期間は、9月24日～10月3日という短い期間でしたが、繰り返し繰り返し、生地を作り、成形して発酵させては焼くに取り組みました。

あらたな挑戦を

パン作りはこれまで取り組んできたところなので、ある程度はできるのですが、ギアさんはこの道40年以上の大ベテラン、18歳の時からパンを作り続けてこられた方の動きをまねることすら難しいと感じました。

実際にパン作り研修に取り組まれた方の所感を一部以下に掲載させていただきます。



ある日、「ベトナムからバインミーを教えてくれる方が来られるが、栗田さんやつてみませんか」と言われ「私でいいんですか？」と始めは戸惑いました。

Pakupakuでパンを作った経験はありますが、数年のブランクがあり、不安がありました。しかし、遠いベトナムから私たちの為に教えに来てくださるということ、これも経験のひとつであり、パン作りを楽しんでやってみようと気持ちを切り替え臨みました。

初めてお会いた印象は、温厚で優しい方だと感じました。日本語は話せないという事で通訳のフーンさんを通じて、お話しをさせていただきました。

初日のパン作りは、まずは自分で作ってみたいという事で、ギアさんのパン作りを見せて頂きました。



生地をカットする手早さや、大きさも計られずにされていたが、ほぼ同じ大きさにされ、成形に至つては、目にも止まらぬ速さであつた。という間にパンの形に完成しました。

2日目から練習用のパン生地を仕込み、カットや成形の練習に勤しみました。やり方が上手くいかない時はギアさんが熱心に教えてくださり、言葉は通じなくても彼の思いが理解でき、徐々に成形も出来るようになり、時々ではありましたが、オッケーサインがもらえるようになりました。

通訳のフーンさんもパンを作るうえで専門用語が難しいと言われながら、私にギアさんの言葉を伝えてくださり、大変だったと思います。

最初に焼いたパンは、ギアさんのパンと形も食感も違い、どうしたら彼のパンに近い物が作れるのかをアドバイスを受けながら時にはその動きをみながら学んでいきました。

2週間長いと思っていた時間もあつという間に過ぎていき最終日は私一人で仕込みからパン焼きまでをやってみましようと言われ、緊張の中パンを作っていました。

成形や発酵具合、焼きのタイミ



ングなど戸惑いながらしている私を側で見守ってくださっていて、迷っているところ「自分でやってみなさい」と言われ自信はありませんでしたが、最後まで一人でパンを作りました。焼きあがったパンを見て、パンを食べた後で“GOOD”と親指を立てられました。ギアさんが納得されるパンが出来てとてもうれしく思いました。「卒業できますか？」と聞くとギアさんは手を差し伸べられ握手をしてくださいました。感動でした。

2週間という短い期間でしたが、ギアさんから学んだことを伝えていくという仕事は私にはあり、責任の重さを改めて感じています。そして新たな商品を作り、利用者の方と共に働き工賃向上の一助となるよう取り組んできたいと思っています。

ギアさん、フーンさん ありがとうございます。

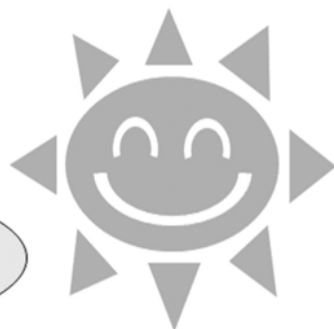


ふんわりとしたやさしいパンは
いかがですか？町内会行事や学校行事などの
特別注文も承ります。
お気軽にお問い合わせください。

！！無料配達承ります！！

焼きたてぱん

ベーカリー
Paku・Paku



社会福祉法人「せの」少年牧場 あかつき
ベーカリーPaku・Paku
広島県福山市神辺町八尋951-4
TEL・FAX 084-965-0742



新聞・雑誌・ダンボール・空き缶
無料回収いたします

お問い合わせは
こちらまで

TEL(084)987-5810

ゆめの木・わかば / 日中部門

福山市沼隈町大字草深 1694-1



私のほっこり日記

「ゼノ」Home 未来

生活支援ワーカー 花本 真衣

ある朝の出勤準備のことです。強度行動障害のある利用者さんが、服を着替える流れで気持ちが高ぶり、なかなか準備が進まない状況でした。職員が声をかけても気持ち収まらず、靴下を投げて大きい声を出され、時間にも追われて少し焦りを感じていました。それでも一つ一つ丁寧に寄り添い、何とか準備を終えることができました。ようやく駐車場で送迎車を待つことになり、正直、「ふう〜」と胸をなでおろした瞬間でした。そのとき、別の利用者さんがそつと近づいて来られ「今日は頑張ったね。」と一緒にこう。「と声をかけて下さいました。その言葉に高揚していた利用者さんの表情が和らぎ、少し照れたように頷いた姿がとても印象的でした。普段は支援者が中心となって関わる場面ですが、利用者さん同士の自然な励まし合いが大きな力になる事を改めて感じました。

この出来事から、困難な状況の

中にも温かい瞬間が生まれること、そして「支援者だけではなく仲間」の存在が大きな安心につながる」ということを実感しました。小さな声掛けが場を和ませてくれるそんな場面に立ち会えたことで、心が温かくなり「この仕事をしていて良かった」と感じました。利用者さんの笑顔や前向きな一歩が、支援する私たちにとって大きな励みになっています。



Italian gelato
Arocogiano

イタリアンジェラート
アルコジャーノ

イベントへの出店、移動販売のお問い合わせ、
ギフトなどのお申込は下記までご連絡下さい。

お問い合わせは
こちらまで

084-960-2256

製造・販売 / ゆめサポート・バク



www.arocogiano.jp アルコジャーノで検索

総合福祉施設を形成するZENOGグループ

●入所系施設

- 【障害児入所施設】「ゼノ」やまびこ学園児童部
- 【障害者支援施設】「ゼノ」やまびこ学園成人部、「ゼノ」なごみの家

●グループホーム

【共同生活援助事業】

〈沼隈地区〉

- 「ゼノ」Home 青雲、「ゼノ」Home 白雲、「ゼノ」第3ホーム
- 「ゼノ」あじさいホーム、「ゼノ」Home らん、「ゼノ」第2ホーム
- 「ゼノ」わこうどホーム、「ゼノ」さくらホーム、「ゼノ」Home おおぞら
- 「ゼノ」Home 銀河、「ゼノ」Home ジュピター、「ゼノ」Home 虹
- 「ゼノ」第1ホーム、「ゼノ」第6ホーム、「ゼノ」ホームひだまり
- 「ゼノ」Home 大地、「ゼノ」Home 太陽、「ゼノ」Home 未来、「ゼノ」Home 輝
- 「ゼノ」ホームなごみさちの里、「ゼノ」ホームなごみふくの里

〈松永地区〉

「ゼノ」Home 翼

〈神辺地区〉

- 「ゼノ」ホームたぴあ、「ゼノ」ホームゆの、「ゼノ」ホームひまわり
- 「ゼノ」ホームそよかぜ、「ゼノ」ホームせせらぎ、「ゼノ」ホームこもれび

●居宅系事業

- 【居宅介護事業】生活支援センターほほえみ、ケアサポートひなた

●通所系施設

【障害福祉サービス事業多機能型事業所】

- ゆめの木・わかば、JOBプラスはんど、あかつき
- ゆめサポート・バク

【児童発達支援センター】「ゼノ」こぼと園

【放課後等デイサービス】

- 放課後児童デイサービスセンターぶくぶく

「ゼノ」こども広場まつなが

放課後児童デイサービスセンターらいず

【認定こども園】幼保連携型認定こども園ゆめな

【保育所】松永東保育所

●相談支援事業

【相談支援事業】「ゼノ」こぼと園相談支援事業所

相談支援事業所「ゼノ」からっと、相談支援事業所ほっぴ

●その他

【診療所】「ゼノ」診療所

【地域における公益的な取組】

「未来も笑おうプロジェクト」Come 叶夢ハウス

【外国人育成・確保事業】国際事業部